

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 189号【最新開催セミナーご案内！】

□ ■ (株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【6月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□ ■ ————— 2025.5.27 Vol.189 ■ □

(株)技術情報センターのメルマガをご覧いただきありがとうございます。

五月は、みずみずしい生命力にあふれた一年で最も麗しい月です。

また、「初鰹」をはじめ、多くの食材が旬を迎えます。

そのなかでも、季節の味を炊き込んだ「炊き込みごはん」はやさしい家庭の味です。

炊き込みごはんには、その季節ならではの色香や風味を愛でるごはんもあれば、麦、

粟（あわ）など、米以外の穀物や、栗、豆を炊き込んだもの、魚介を炊き込んだもの、

特定の山や海などでしか採れない松茸やしめじ、浅蜊（あさり）、牡蠣などを

用いたものなどたくさんあります。

また、ご飯の量を増やすために、麦や大根、芋を入れ、さらにこれを粥にするとい

うことも昔の日本人の工夫です。

昨今の米の値段の高止まりや、今後想定される価格の三極化にも応用できそうです。

食材の旬によって、春には「菜飯（なめし）」、夏は「筍（たけのこ）ごはん」、

「豆ごはん」、秋は「松茸ごはん」、「栗ごはん」などのほか、日本各地には固有の

「炊き込みごはん」があります。

その中でも、「ああ、この鮮やかなみどり」とさわやかな気分を味わわせてくれるの

が初夏の炊き込みごはん「豆ごはん」。

「豆ごはん」は米と豆さえあればできる普段着の料理。

豆のみどりを引き立てるには出汁を使わず、さっぱりと塩味だけにするのが、美味しくいただくコツです。

かをりにもまづ目をつむり豆の飯

森 澄雄

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第189号をお届けいたします。

今回も2025年6月開催20セミナーと新規取り扱い書籍情報3タイトルと

盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただけるとありがたく存じます。

☐ ■ ————— ■ ☐
i n d e x

☐ ■ ————— ■ ☐

◇セミナー情報[2025年6月開催セミナー/20件]

2025年6月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2025-06.html>

◇おすすめセミナーPick Up

今回は2セミナー紹介します。

6月25日(水)開催

「アグリゲーションビジネスと技術に関する取組み/最新動向」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20250618.html>

6月26日(木)開催

「企業におけるCO2分離回収技術とCCUSへの取組み」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20250616.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報（3タイトル）

<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇季語に遊ぶ

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202505.pdf>

□ ■ ————— ■ □

セミナー情報

[2025年6月開催セミナー/20件]

□ ■ ————— ■ □

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。

詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます

URLにてご案内致しております。

■ 6月11日(水)-----

プラント概算見積の基礎と実際

～グローバル化の時代、事業採算性評価と判断にはスピードが求められる、

そのベースとなる設備コストの推算を如何に迅速に行うか～

（先人の手法から知恵と工夫を学び、活用しよう）

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250610.html>

■6月12日(木)-----

SAF（持続可能な航空燃料）に関する取組み・展望
～講師5名【NEDO、日本航空、ENEOS、
Biomaterial in Tokyo、レボインターナショナル】ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250611.html>

■6月12日(木)-----

プラントDXの最初の一步は“見える化”から
～ファストデジタルツインで始める保全革命
～現場に刺さるDX、進まない理由と進め方のすべて～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250605.html>

■6月13日(金)-----

～受講者の事前ご質問・ご要望に可能な限り対応頂きます～
国際規格に基づく防爆電気機器の適用と最新動向
～水素・アンモニア発電、またロボットやモバイル機器のプラントでの活用など
新たな防爆適用の範囲が広がっています。

粉じん防爆を含む、防爆機器の構造から危険場所への適用まで詳細に解説～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250603.html>

■6月13日(金)-----

アンモニアの利用技術とコスト・ビジネス展望、新規ビジネスモデル

～脱炭素燃料、水素キャリアとしてのアンモニアおよび
CO2固定・リサイクル・メタネーション原料としてのアンモニア～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250607.html>

■6月17日(火)-----

－電気器材を実際に触れて理解を深めるために
受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた－
現場で役立つ電気の基礎知識
～専門外の方のための～

★会場★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250601.html>

■6月18日(水)-----

企業における水素事業と技術開発への取組み・展望
～講師5名（岩谷産業、川崎重工業、エア・ウォーター、室蘭ガス、清水建設）ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250613.html>

■6月18日(水)-----

脱炭素、CO2削減の要！ガス、電力単価高騰時代に向けた
最新熱回収の考え方と自然エネルギーをフル活用した
熱交換、ヒートポンプ、暑熱対策の最新事情（実際）の公開
－低～中温排熱回収と熱融通でエネルギー使用量の大幅削減方法と事例紹介、
経年汚れ、腐食も考慮した徹底した地球を暖めない省エネ設備を導入していますか？－

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250604.html>

■6月19日(木)-----

バイオマス等燃料の発熱現象とその利用、発熱性評価及び
火災・爆発に関するガイドラインと事故事例からみる防止策

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250621.html>

■6月19日(木)-----

～カーボンニュートラルに向けた～

水素／アンモニア等に関する装置・部材と要素技術

～講師 5 名（中外炉工業、荏原製作所、荏原エリオット、
三菱重工コンプレッサ、INPEX）ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250614.html>

■6月20日(金)-----

地熱発電／地熱バイナリー発電への取組みと要素技術

～講師 4 名（富士電機、東芝エネルギーシステムズ、
オリックス、産業技術総合研究所）ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★（II、III、IVのみ視聴可）

<https://www.tic-co.com/seminar/20250619.html>

■6月20日(金)-----

エンジニアのための計装制御設計技術の基礎と留意点

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250608.html>

■ 6月23日(月)・24日(火)-----

～関税の変動や原材料の価格変動、地政学・災害リスク、ESG対応など～
世の中の変化に対応するグローバル調達の基礎知識・留意点と実践活用

★日程別受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250606.html>

■ 6月24日(火)-----

～講師3名：太陽電池モジュールの大量処理・廃棄時代に向けた～
太陽光パネルのリサイクルに関する政策・技術開発・取組み・展望

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250620.html>

■ 6月25日(水)-----

～蓄電池やコジェネシステムの活用・運用、収益化を含め～
アグリゲーションビジネスと技術に関する取組み/最新動向
－講師4名（東芝エネルギーシステムズ、NTTアノードエナジー、
日本蓄電、GridBeyond）ご登壇－

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250618.html>

■ 6月25日(水)-----

ゼロエミッション船／海運低・脱炭素化に関する
技術開発等取組み・規制・展望

～講師3名【商船三井、アメリカ船級協会、東京海洋大学】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★（I、IIのみ視聴可）

<https://www.tic-co.com/seminar/20250615.html>

■6月26日(木)-----

企業におけるCO2分離回収技術とCCUSへの取組み

～千代田化工建設、エア・ウォーター、

北海道電力、日鉄エンジニアリングの方々ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250616.html>

■6月26日(木)-----

排水処理（水処理、水回収、有価物回収）における

基本技術とコスト削減の進め方及び技術動向

～水処理プロセスの最適化、サステナビリティへの取組みなどを含めて～

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250612.html>

■6月27日(金)-----

陸上養殖・アクアポニックスの最新動向と取組み・事業展開

～講師5名（東京海洋大学、IMTエンジニアリング、

エスベックミック、ベルデアクア、宮城大学）ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250617.html>

■6月27日(金)-----

CO2分離回収／DAC、メタネーション技術のプロセス／コスト計算及び
CO2分離回収付き火力発電のプロセスと経済性評価

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20250609.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

■ 受講申し込み受付中セミナー一覧

● 2025年8月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2025-08.html>

● 2025年6月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2025-06.html>

● 2025年8月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-08archive.html>

● 2025年6月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-06archive.html>

● 2025年4月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04archive.html>

● 2025年2月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-02archive.html>

● 2024年12月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-12archive.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、

最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

□ ■ _____ ■ □

おすすめセミナーPick Up

□ ■ _____ ■ □

今回のPick Upセミナーその1は

「アグリゲーションビジネスと技術に関する取組み/最新動向」セミナー

です。

本セミナーでは、アグリゲーションビジネスと関連技術について、最新の制度、市場設計の動向や蓄電池による安定運用、電力需給安定化、収益性向上、又、コジェネシステムの最適化（調整力の収益化）など各企業における取組み・展望を交え、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。

●講 師 東芝エネルギーシステムズ株式会社
新貝英己 氏

●講 師 NTTアノードエナジー株式会社
鈴木直行 氏

●講 師 日本蓄電株式会社（Eku Energy Japan）
小野健太郎 氏

●講 師 GridBeyond合同会社
福島良典 氏

●日 時 2025年 6月 25日（水） 10:00～16:20

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信（Zoom）での受講も可能です。

※セミナー資料（テキスト）はセミナー開催日の直前にデータ（pdf）でお送り致します。

※アーカイブ受講可能

(当日受講及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴致します。)

1. 受講料は同額となります。
2. 開催日より7～10営業日以降に配信の準備が整いましたらご連絡致します。
3. ご都合の良い日をお伺いし、視聴用URLなどをお送り致します。
4. 動画の公開期間は公開日より5日間となります。

●受講料 ◆1日受講 49,940円【1名につき】

(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円)

(午前と午後で受講者が異なる場合でも可)

◆午前のみ(プログラムI)受講 29,700円【1名につき】

◆午後のみ(プログラムII・III・IV)受講 39,600円【1名につき】

※上記全て、テキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

10:00-11:30

I. アグリゲーションビジネスの最前線

：再エネの自立化と蓄電池を活用したアグリゲーション事業

第7次エネルギー基本計画が示され、2040年の再エネ比率は40～50%を目指すことになる。再エネ普及のドライバーとなる需要家の環境意識は益々高まり、Hourly Matching(24/7)やLocation Matching等、高度で多様なコーポレートPPAのニーズが生まれている。

また、再エネの自立化と普及に向けては、蓄電池を活用した行動変容により、系統の需給バランスや安定化にも寄与することが求められる。そこでは、容量市場、需給調整市場、卸電力市場におけるマルチユースが収益性の鍵を握る。

最新の制度や市場設計の動向を踏まえて、アグリゲーターの最新技術とビジネスモデルを紹介する。

1. 東芝グループのカーボンニュートラル事業

(1)再エネ発電事業、EPC、ペロブスカイト、水素、VPP

(2)VPPの基本コンセプトとこれまでの取り組み

2. 再エネアグリゲーション事業

- (1)ドイツネクストクラフトベルケの取り組み
- (2)再エネの供給モデル
 - 1)フィジカルPPA
 - 2)バーチャルPPA
 - 3)具体的な事例
- (3)再エネマッチングサイト「EneHub」
- 3. 再エネ普及の鍵を握る市場と制度の状況
 - (1)卸電力市場、出力制御の状況
 - (2)FIP制度の見直し
- 4. 蓄電池アグリゲーション事業
 - (1)再エネ併設蓄電池
 - (2)系統蓄電所
 - (3)需要家設置型蓄電池
- 5. アグリゲーションを支える技術
 - (1)発電量予測、市場価格予測
 - (2)AIを活用したトレーディング
 - (3)蓄電池制御
- 6. アグリゲーターの目指す姿（総括）
- 7. 質疑応答・名刺交換

（新貝英己 氏）

12:40-13:40

II. エンジニアリング技術とICTを活用した蓄電所の収益向上・安定運用

太陽光や風力等、発電量が天候に左右される再生可能エネルギーを主力電源化していくため、蓄電池が注目されています。電気通信のバックアップとして100年以上にわたり蓄電池を運用してきた当社のエンジニアリング技術と、NTTグループのICTを活用した、蓄電所の収益向上と安定運用を両立するための取り組みについて紹介する。

- 1. 再生可能エネルギーの普及と蓄電池に求められる期待
 - (1)再生可能エネルギーの今後について
 - (2)蓄電池に求められる期待
- 2. 蓄電池の概要・トラブル事例
 - (1)蓄電池の概要
 - (2)当社が経験した蓄電池に関するトラブル事例
- 3. 蓄電所を支える技術とそれを活用した蓄電所構築・運用サービス
 - (1)電気通信を支えてきたエンジニアリング技術

- (2)NTTグループのICTを活用したエネルギー流通プラットフォーム
- (3)収益向上と安定運用を両立する蓄電所構築・運用サービス
- 4. 質疑応答・名刺交換

(鈴木直行 氏)

14:00-15:00

III. 系統用蓄電池開発を通じた電力需給安定化

世界中で再生可能エネルギーの大量導入と電力需給の不安定化が進む中、系統用蓄電池の活用が注目を集めています。Eku Energy系統用蓄電池専門の開発者として、イギリス、オーストラリア、日本においてこうした社会課題に向き合ってきました。蓄電池の価値を最大限に引き出す存在として期待されるアグリゲーターとの連携に焦点を当て、国内外の動向と事例をご紹介します。

- 1. Eku Energyの会社紹介
- 2. 日英豪の市場制度の比較
 - (1)エネルギーアグリゲーションにおける系統用蓄電池
 - (2)各国の電力取引市場制度の比較
 - (3)各国での蓄電池活用方法の違い
- 3. 系統用蓄電池の商業展開
 - (1)開発事例とEku Energyの役割
 - 1)セルフマーチャント事例
 - 2)公的メカニズム活用事例
 - 3)トーリング/オフテイク事例
 - (2)アグリゲーターとの連携
- 4. 蓄電池普及に向けた課題
 - (1)系統接続の課題
 - (2)制度・運用変更の課題
- 5. 質疑応答・名刺交換

(小野健太郎 氏)

15:20-16:20

IV. コジェネシステムの最適化 ～エネルギー市場における調整力の収益化～

コジェネシステムの効果的な最適化について考察し、現場のエネルギーコストの削減という役割を超えて、積極的な収益創出の為にどう貢献できるかを示す。コジェネは需給調

整市場、容量市場や電力卸市場に参加することで、事業所レベルの財務状況をどのように向上させながら、グリッドの安定性に貢献するかを紹介する。

1. コジェネシステムの最適化：コジェネを活用してエネルギーコストを削減し、収益を生み出す方法
2. 市場参加：コジェネの活用に適した電力市場（例：需給調整、容量）の見極め
3. 技術支援：機械学習ベースのAI価格予測を活用した運用上の意思決定の改善
4. 調整力入札戦略：運転を中断することなく、コジェネの調整力を収益化するためのスマート入札戦略の実施
5. 排出量：最適化による純炭素削減効果を評価
6. 導入上の課題：変動の激しい市場環境においてコジェネを導入する際の実際的な障壁と解決策の特定
7. 質疑応答・名刺交換

（福島良典 氏）

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20250618.html>

Pick Upセミナーその2は

「企業におけるCO2分離回収技術とCCUSへの取組み」セミナー

です。

本セミナーでは、午前中にCCUS/DACの要素技術および事業サプライチェーンの俯瞰、安定供給/経済性/環境性を確保する持続可能性の現状と今後の展開、午後には、炭酸ガス製造を取り巻く現状、低濃度CO2からのCO2分離回収技術並びにCCUSに向けた取組み、既設石炭火力発電所に対するCCUSレトロフィット適用に関する調査・取組み、化学吸収法を用いた省エネ型CO2回収設備の特徴や適用状況、CCUSへの取組みなどについて、斯

界の最前線でご活躍中の企業の講師陣に詳説頂きます。

- 講 師 千代田化工建設株式会社
フロンティアビジネス本部 テクニカルアドバイザー
細野恭生 氏
- 講 師 エア・ウォーター株式会社
エネルギーソリューショングループ
グリーンイノベーションユニット GI事業部
渡邊みのり 氏
- 講 師 北海道電力株式会社
火力部 火力カーボンニュートラル推進グループ
(総合エネルギー事業部 水素事業推進グループ兼務) 主任
加藤康太郎 氏
- 講 師 日鉄エンジニアリング株式会社
プラント本部 計画技術部 脱炭素計画技術第二室 シニアマネジャー
萩生大介 氏

●日 時 2025年 6月 26日(木) 10:00～16:30

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信(Zoom)での受講も可能です。

※セミナー資料(テキスト)はセミナー開催日の直前にデータ(pdf)でお送り致します。

※アーカイブ受講可能

(当日受講及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴致します。)

1. 受講料は同額となります。
2. 開催日より7～10営業日以降に配信の準備が整いましたらご連絡致します。
3. ご都合の良い日をお伺いし、視聴用URLなどをお送り致します。
4. 動画の公開期間は公開日より5日間となります。

●受講料 ◆1日受講 55,000
円【1名につき】

(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,000円)

(午前と午後で受講者が異なる場合でも可)

◆午前のみ(プログラムI)受講 29,700円【1名につ

き】

◆午後のみ(プログラムII・III・IV)受講 40,700円【1名につ

き】

※上記全て、テキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

10:00-11:40

I. DACを含めたCO₂分離回収技術開発とCCUS事業サプライチェーンの
最新動向・展望
～千代田化工建設での取組みを交えて～

カーボンニュートラル実現には再エネの最大活用と並んで排出されたCO₂や空気中のCO₂を分離回収して地下貯留や有効利用するCCUS/DACが重要視され、現在世界では多くのプロジェクトが立ち上がり実装されつつある。本講演では、CCUS/DACの脱炭素におけるポジションを確認し、その要素技術および事業サプライチェーンを俯瞰し、安定供給/経済性/環境性を確保する持続可能性(Sustainability)のポテンシャルについて現状と今後の展開について当社での取組みも交えて詳説する。

1. 脱炭素社会に向けたCCUSの潮流
 - (1)CCUS/DACが要求される背景
 - (2)脱炭素シナリオ
 - (3)政策・制度・規格
2. CCUS要素技術の現状と開発動向
 - (1)CCSサプライチェーンを構成する要素技術
 - (2)CO₂分離回収技術とメインプレイヤー
 - (3)CDR(炭素除去技術)とDAC
3. CCUS/DAC事業サプライチェーンの持続可能性
4. 世界のCCUS/DACプロジェクト
5. 今後の展開
6. 質疑応答・名刺交換

(細野恭生 氏)

12:50-14:00

II. CO2分離回収技術とCCUSに向けたエア・ウォーターの取組み

液化炭酸／ドライアイスの製造メーカーとして、炭酸ソース減少への適応と、脱炭素化に向けた取組みが求められている。炭酸ガス製造を取り巻く現状と、低濃度CO2からのCO2分離回収技術並びにCCUSに向けた取組みについて紹介する。

1. 炭酸ガスのマーケットと用途
2. 炭酸ガス製造方法
3. 低濃度CO2排ガスからのCO2回収
4. CCUSに向けた取組み紹介
5. 質疑応答・名刺交換

(渡邊みのり 氏)

14:15-15:15

III. 既設石炭火力発電所に対するCCUSレトロフィット適用に関する調査・取組み

火力発電所の脱炭素化に向け、CCSは有効な技術の一つである。そこで、当社は負荷変動を伴う大型石炭火力発電所である苫東厚真発電所へのCO2分離回収設備の適用について検討してきた。本講演ではその検討状況や実用化に向けた課題等について概説する。

1. 検討の背景
2. CO2分離回収技術の検討
3. 発電所への影響検討
4. 質疑応答・名刺交換

(加藤康太郎 氏)

15:30-16:30

IV. 省エネ型CO2回収設備ESCAP(R)とCCUSへの取組み

すでに実用化されているCO2分離回収技術のうち、化学吸収法は排ガスのような低圧・低濃度からの回収や大規模化に適しており、2050年までのカーボンニュートラル目標を達成するために必要不可欠な技術となっている。本講演では、日鉄エンジニアリングが開発した化学吸収法を用いた省エネ型CO2回収設備ESCAP(R)の特徴や普及状況、CCUSへの取組みについて紹介する。

1. 日鉄エンジニアリング(株)のカーボンニュートラルへの取組み

2. ESCAP(R)の開発背景と経緯
3. ESCAP(R)の特徴
4. ESCAP(R)の商業機実績
5. CCUSへの取組み
6. 質疑応答・名刺交換

(萩生大介 氏)

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20250616.html>

☐ ■ [主催セミナー アーカイブ一覧](#) ■ ☐

☐ ■ [過去に開催致しましたセミナーの当日の様子を録画・編集した動画を配信致しております。](#) ■ ☐

過去に開催致しましたセミナーの当日の様子を録画・編集した動画を配信致しております。
是非一度ご覧下さいませ。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

☐ ■ [新規取り扱い書籍（2タイトル）](#) ■ ☐

☐ ■ [新たに新に取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。](#) ■ ☐

新たに新に取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて

ご案内致しております。

---- 《 エネルギー関連 》 -----

日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向 2025

<https://www.tic-co.com/books/2025ce03.html>

---- 《 界面化学関連 》 -----

エッチングの高度化と3次元構造の作製技術

<https://www.tic-co.com/books/25sta151.html>

---- 《 情報システム材料・技術 》 -----

高齢者のためのテクノロジー応用

<https://www.tic-co.com/books/25stm094.html>

□ ■ ————— ■ □

セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

□ ■ ————— ■ □

2025年3月1日から4月30日までの2ヶ月間のセミナー及び
書籍のWebページアクセス数ランキングを挙げてみました。

: : : : : ★ セミナー ランキング ★ : : : : :
: : : : : :

第1位 「系統用蓄電事業と蓄電池の運用・技術開発動向」
(2025年4月25日(金)開催)

<https://www.tic-co.com/seminar/20250418.html>

アクセス数 1496

件

第2位 「天然ガス・LNGを巡る最新動向・展望と
FSRU事業、その課題・今後の展開」
(2025年4月23日(水)開催)

件 <https://www.tic-co.com/seminar/20250404.html> アクセス数 1228

第3位 「PFASの効率的除去・分離・分解・無害化処理技術」
(2025年4月16日(水)開催)
件 <https://www.tic-co.com/seminar/20250413.html> アクセス数 1193

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202505S.html>

今回は第1位に
～講師5名（オリックス、日本工営エナジーソリューションズ、
パワーエックス、日本ガイシ、産業技術総合研究所）ご登壇～
系統用蓄電事業と蓄電池の運用・技術開発動向
がランクイン。

本セミナーでは、オリックスの蓄電所事業者としての取組みや課題・展望、
日本工営における欧州での系統用蓄電所事業展開の知見、日本での取組み、
PowerXにおける系統用蓄電所の開発・導入事例、収益化のための運用方法、
NAS電池の特徴を生かした電力貯蔵システムの実例・最新の取組み、
レドックスフロー電池の技術開発動向と長期エネルギー貯蔵（LDES）の可能性などにつ
いて、
斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしょう。

関連セミナーとして
2025年6月25日(水)に
～蓄電池やコジェネシステムの活用・運用、収益化を含め～
アグリゲーションビジネスと技術に関する取組み/最新動向
－講師4名（東芝エネルギーシステムズ、NTTアノードエナジー、
日本蓄電、GridBeyond）ご登壇－
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧ください。→
<https://www.tic-co.com/seminar/20250618.html>

ならびに、

2025年6月18日(水)に

脱炭素、CO2削減の要！ガス、電力単価高騰時代に向けた

最新熱回収の考え方と自然エネルギーをフル活用した

熱交換、ヒートポンプ、暑熱対策の最新事情（実際）の公開

－低～中温排熱回収と熱融通でエネルギー使用量の大幅削減方法と事例紹介、

経年汚れ、腐食も考慮した徹底した地球を暖めない省エネ設備を導入していますか？－

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250604.html>

ならびに、

2025年6月20日(金)に

地熱発電／地熱バイナリー発電への取組みと要素技術

～講師4名（富士電機、東芝エネルギーシステムズ、

オリックス、産業技術総合研究所）ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250619.html>

ならびに、

2025年6月19日(木)に

バイオマス等燃料の発熱現象とその利用、発熱性評価及び

火災・爆発に関するガイドラインと事件事例からみる防止策

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250621.html>

ならびに、

2025年6月26日(木)に

企業におけるCO2分離回収技術とCCUSへの取組み

～千代田化工建設、エア・ウォーター、

北海道電力、日鉄エンジニアリングの方々ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250616.html>

ならびに、

2025年6月27日(金)に
CO2分離回収／DAC、メタネーション技術のプロセス／コスト計算及び
CO2分離回収付き火力発電のプロセスと経済性評価
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250609.html>

ならびに、

2025年6月27日(金)に

陸上養殖・アクアポニックスの最新動向と取組み・事業展開
～講師 5 名（東京海洋大学、IMTエンジニアリング、
エスベックミック、ベルデアクア、宮城大学）ご登壇～
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250617.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆ ：：：：：
：：：：：

第 1 位 『廃プラスチックのケミカルリサイクル』
<https://www.tic-co.com/books/25stm091.html> アクセス数 292
件

第 2 位 『プラント配管工事工数の合理的な見積法』
<https://www.tic-co.com/books/20190781.html> アクセス数 286
件

第 3 位 『膜分離を用いたカーボンニュートラル・化学プロセスの実用化技術』
<https://www.tic-co.com/books/25sta150.html> アクセス数 283
件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202505B.html>

今回は廃プラスチックのケミカルリサイクル—技術開発動向と展望—
～解重合・液化・ガス化・各種分解プロセス等の技術と事業化の動向～
が書籍・調査資料アクセスランキングトップに。

欧米をはじめ、容器包装材の使用そのものを削減しようとする動きが始まり、さらに、プラスチック循環について世界的な法的拘束力のある国際条約が決められつつあります。プラスチックはマテリアルリサイクルされるのが理想ですが、混合プラスチックや食品残渣などにより汚れたプラスチックはリサイクル困難です。

今後、ソーティング技術が進歩し、解重合を含めマテリアルリサイクル技術が進歩するものと思われますが、これらのリサイクル困難なプラスチックは、ガス化するのではなく、熱分解で液化し、当面は既存のナフサクラッカーでスチームクラッキングしてポリマーの原料とするのが再利用への近道です。

都市ごみなどと混合した回収困難なプラスチックは、都市ごみと一緒に焼却されるのではなく、ガス化してメタノールなどの化学品の製造に用いられなければなりません。

ケミカルリサイクルを中心に、廃プラスチックリサイクル技術開発の経緯や近年の動向、今後の展望をまとめた内容が関心を集めてのランクインでしょう。

関連セミナーとして

2025年6月24日(火)に

～講師3名：太陽電池モジュールの大量処理・廃棄時代に向けた～
太陽光パネルのリサイクルに関する政策・技術開発・取組み・展望
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250620.html>

ならびに、

2025年6月19日(木)に

バイオマス等燃料の発熱現象とその利用、発熱性評価及び
火災・爆発に関するガイドラインと事故事例からみる防止策
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250621.html>

ならびに、

2025年6月18日(木)に

脱炭素、CO2削減の要！ガス、電力単価高騰時代に向けた

最新熱回収の考え方と自然エネルギーをフル活用した
熱交換、ヒートポンプ、暑熱対策の最新事情（実際）の公開
－低～中温排熱回収と熱融通でエネルギー使用量の大幅削減方法と事例紹介、
経年汚れ、腐食も考慮した徹底した地球を暖めない省エネ設備を導入していますか？－
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250604.html>

ならびに、

2025年6月20日(金)に

地熱発電／地熱バイナリー発電への取組みと要素技術

～講師4名（富士電機、東芝エネルギーシステムズ、

オリックス、産業技術総合研究所）ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250619.html>

ならびに、

2025年6月25日(水)に

～蓄電池やコジェネシステムの活用・運用、収益化を含め～

アグリゲーションビジネスと技術に関する取組み/最新動向

－講師4名（東芝エネルギーシステムズ、NTTアノードエナジー、

日本蓄電、GridBeyond）ご登壇－

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20250618.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

☐ ■ _____ ■ ☐

E-mail変更・不要について

☐ ■ _____ ■ ☐

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」と
ご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう

お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □
季語に遊ぶ

□ ■ _____ ■ □

誰かに話したくなる地球の大自然、絶景と俳句 第3回

前々回から、驚きの自然現象、神秘的な風景、雄大な海や山、色鮮やかな大地など毎回3テーマずつ感動を与えてくれる世界の風景とそれに合った俳句をお届けしています。

第3回の今回は、

1. ニュージーランドの－縦に割れたりんごのような－スプリット・アップル・ロック－
2. アフリカ南部のヴィクトリアの滝にかかる月虹－水煙と月の光によって発生する幻想的な光景－
3. イタリア、リヴェラの東側にある複雑な海岸に点在する美しい村々
－チンクエ・テッレの景観と希少な白の最高級ワイン「シャケトラ」を産み出す断崖絶壁の
だんだん畑－

をご紹介します

関連季語とともに楽しみください。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202505.pdf>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[T E L] 06-6358-0141

[F A X] 06-6358-0134

[U R L] <https://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com